

ウルグアイ経済報告（3月分）

【概況】

- 3月の消費者物価指数（対前年同月比）は8.34%となり、先月に続き政府のインフレ目標（3～7%）を上回った。前年同月比で住居、家具・家庭用品の分野では2桁、それ以外の分野では1桁台の増加であった。
- 3月の対ドル為替レートは平均44.26ペソと、前月比3.58%のペソ安となった。
- 3月の輸出額は843百万米ドル、前年同月比は25.5%増となった。木材、牛肉、セルロース、小麦の輸出が増加した一方で大豆、炭酸飲料原料、プラスチックの輸出は減少した。
- 3月の輸出額第1位は牛肉で、輸出量増加に伴い輸出額は210百万米ドル（前年同月比25%増）となった。牛肉の輸出全体の54%を占める主要輸出先である中国への輸出は前年同月に比べ49%増加した。一方、輸出全体の12%を占める米国への輸出は24%減少した。同2位のセルロースの輸出額は109百万米ドル（前年同月比39%増）となった。セルロースの輸出は2020年前半より停滞していたが、2021年2月以降回復傾向にある。同3位の木材は輸出量増加及び価格上昇に伴い輸出額は62百万米ドル（前年同月比271%増）となった。輸出全体の46%が中国、20%が米国への輸出であった。同4位は乳製品で輸出額は55百万米ドル（前年同月比20%増）となった。バターの輸出増加が顕著であったが、他の製品についても全体的に輸出が増加した。
- 輸出が好調であったのが小麦、羊肉・山羊肉である。小麦は収穫量増加及び価格上昇に伴い輸出額は17百万米ドル（前年同月比1,746%増）となった。輸出先1位はブラジル、2位はエジプトであった。羊肉・山羊肉の輸出は14百万米ドル（前年同月比260%増）となった。また、牛肉副産品（31%増）、生体牛（78%増）、羊毛（83%増）の輸出も前年同月に比べ大幅に増加した。
- 輸出が不調であったのが大豆、炭酸飲料原料、プラスチックである。大豆の輸出は、輸出価格は前年同月に比べ4%増加したものの前年同月の輸出量が特に多かったことも影響し、輸出額は18百万米ドル（前年同月比58%減）となった。炭酸飲料原料は前年同月の輸出量が特に多かったことに加え、輸出量減少に伴い輸出額は48百万米ドル（前年同月比21%減）となった。輸出先別では全体的に輸出量減少が見られたが主要輸出先であるメキシコへの輸出減少が目立った。また、プラスチックはブラジルへの輸出量減少に伴い輸出額は12百万米ドル（前年同月比39%減）となった。
- 3月の主要輸出先を見ると、第1位は先月に引き続き中国で、輸出額は前年同月の約2倍

に相当する 222 百万米ドル（輸出全体の 34%）となった。木材、牛肉、生体牛、牛肉副産品、羊肉・山羊肉、大麦、乳製品、羊毛の輸出が増加した一方で、自動車部品及びプラスチックの輸出は減少した。同 2 位はブラジルで、麦芽、乳製品、小麦の大幅な輸出量増加に伴い、輸出額は 121 百万米ドル（輸出全体の 18%、前年同月比 53%増）となった。同 3 位は EU で牛肉、羊毛・織物、木材、コメ、蜂蜜、馬肉・山羊肉の輸出増加に伴い輸出額は 82 百万米ドル（前年同月比 28%増）となった。一方、皮及び牛肉副産品の輸出は減少した。同 4 位は米国で牛肉、大豆、その他食品の輸出減少に伴い輸出額は 49 百万米ドル（前年同月比 4%減）となった。一方、木材の輸出は大幅に増加した。

（出典：ウルグアイ 21（ウルグアイ貿易投資促進庁））

【トピック】

1 メルコスール首脳会合

メルコスール創設 30 周年にあたる 3 月 26 日、メルコスール首脳会合がオンラインで開催され、ラカジェ・ポウ大統領がウルグアイの立場に関し演説を行った（ブスティージョ外務大臣及びアルベレチェ経済財務大臣同席）。同演説においてラカジェ・ポウ大統領は、今はメルコスール加盟国が共に前進する時期であり、メルコスール及び同組織における活動・生産は重要であるが、重り（lastre）となってはならないと述べた。更にウルグアイはメルコスールが活動を妨げるコルセットになることを受容できないとし、この機会に異なる速度での交渉実施を可能とすることを含む「メルコスール柔軟化」について正式に協議することを提案した。一方、フェルナンデス亜大統領はラカジェ・ポウ大統領の発言に対し「重りが重いのなら下船すれば良い。我々が重りであるのなら他の船に乗れば良いが、我々は誰の重りにもなっておらず、メルコスール加盟国であることを誇りに思う」と述べた。また、アルゼンチン政府はウルグアイ政府に対し、メルコスール柔軟化に関する提案を文書の形式で提示するよう要請した。

2 OECD 投資委員会加盟

3 月 1 日、経済協力開発機構（OECD）投資委員会はウルグアイが全ての必要手続きを完了し、50 カ国目の「投資に関する宣言」支持国となった旨発表した。右を以て今後ウルグアイは「国際投資及び多国籍企業に関する宣言」に関連する投資委員会拡大セッションの参加国となる。

3 ブスティージョ外務大臣のパラグアイ訪問

3月5日、パラグアイを訪問したブスティージョ外務大臣はアセベド・パラグアイ外務大臣と会合し二国間の主要案件に関する協議を行った。同会合にて両大臣は創設30周年を迎えるメルコスールの統合プロセスを評価する必要性について言及した他、パラグアイ・パラナ水路、港湾案件、経済・貿易・投資関係、及び両国間の政治メカニズムを再活性化する必要性について協議した。

4 アルベレチェ経済財務大臣による IDB 年次総会出席

3月21日、米州開発銀行（IDB）年次総会に出席したアルベレチェ経済財務大臣は、プレゼンテーションの中でウルグアイは気候変動を経済政策の中心に据え置き、環境分野における目標達成に向けた大きな前進となるガソリン消費に対するCO2税導入をはじめとする様々な具体的対策を進めている旨説明した。また、工業エネルギー鉱業省と共にグリーン水素に関する取り組みを進めている他、IDB及び国連開発計画（PNUD）の支援を受け環境指標に合わせたソブリン債発行を検討していると述べた。

5 ウルグアイの国際市場参入に向けた動き

(1) ハラル認証取得に関するオンラインセミナー

3月11日、ウルグアイ外務省及び駐アラブ首長国連邦ウルグアイ大使館は、ハラル認証を取得した製品の輸出に関するオンラインセミナー「ウルグアイ企業にとって好機となるハラル市場」を開催し、民間セクターを中心とする40社以上の参加があった。本会合はウルグアイ中小企業の国際化に向けた取り組みを支援するウルグアイ外務省の計画の一環として開催された。

(2) グリーン水素分野におけるEUとの協力に関するワーキング会合

3月19日、ブスティージョ外務大臣及びパガニーニ工業エネルギー鉱業大臣は駐ウルグアイEU代表部及び駐ウルグアイEU諸国大使館代表との間でワーキング会合を実施し、ウルグアイのグリーン水素分野における可能性について説明した。同会合において両大臣は、ウルグアイはEUにとって有力な戦略的パートナーであり、双方に利益が生じる形で協力していくことができると述べた。本会合は新たなビジネスチャンス発掘を通じたウルグアイの国際市場への参入拡大を目指す計画の一環として開催された。

6 新型コロナウイルス感染症の影響

(1) GDP

ウルグアイ中央銀行の発表によると、2020年、ウルグアイのGDPは2002年以降初のマイナス成長となる5.9%の落ち込みを記録した。2020年3月13日の新型コロナウイルス感染症による国家衛生緊急事態宣言に伴い、同年4月から5月にかけて多くのセクターにおける活動が大幅に減少したことに加え、国内外での需要減少が落ち込みの原因。なお、2021年のGDP成長予測は前回発表の4.2%から3.4%に修正された。

(2) 税務当局税収

2021年の税務当局（DGI）の税収は、新型コロナウイルス感染症による国境閉鎖と観光業の活動制限の影響を受け、894.5百万米ドル（前年同月比5.8%減）となった。税収の47%を占める付加価値税（IVA）は前年同月に比べ6.9%減少、燃料及び飲料の販売減少に伴い内部特定税（IMESI）も12.9%減少した。

(3) 経済関係世論調査

ウルグアイ共和国大学及びOpción Consultores社が実施した調査によると、対象者の71%が2020年に新型コロナウイルス感染症による経済的影響を受けたと回答し、94%の家庭が出費を減らす必要に迫られた。なお、55%は貯蓄を使い、22%は所持品を売却する必要に迫られた。また、今回の調査の結果、教育水準の低い家庭ほどパンデミックの影響を受けていることが判明した。

7 製造業生産活動指数

国家統計院（INE）の発表によると、1月の国営燃料公社（Ancap）を除いた場合製造業生産活動指数（IVF）は対前年比で0.9%減となった。なお、Ancap、UPM社、モンテス・デル・プラタ社及びペプシ社を除いた場合のコア製造業生産活動指数は対前年比で1.3%減となった。

8 自動車販売台数

自動車販売協会（ACAU）の発表によると2021年2月の新車販売台数は3,757台（対前年比29.5%増）と大幅に増加した。

9 貧困率

国家統計院（INE）の発表によると、2020年の貧困率は11.6%（対前年比3%増）となった。また極貧率は0.2%から0.4%に増加した。

主な経済指標

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消費者物価指数 (%)	9.92	9.74	9.59	9.41	8.89	9.12	8.34
失業率 (%)	11.00	11.20	10.90	10.50	10.70	11.1	9.7
平均賃金指数 (%)	7.74	7.75	7.76	7.75	6.33	6.20	6.24
対ドル為替 (ペソ) (平均)	42.49	42.68	42.72	42.39	42.28	42.73	44.26
新車売上台数 (台)	3,396	3,477	4,281	4,847	3,732	3,757	4,893

出所：国家統計院 (INE)、ウルグアイ自動車販売協会 (ACAU)

消費者物価指数

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	9.92	9.74	9.59	9.41	8.89	9.12	8.34
食品・ノンアルコール飲料	13.50	12.49	10.50	9.48	9.98	10.23	8.45
アルコール飲料・タバコ	10.39	10.56	10.35	10.43	8.83	9.23	9.46
衣服・靴	4.87	6.33	7.10	6.69	6.35	6.21	6.38
住宅	7.84	8.02	10.31	11.53	10.69	10.85	10.73
家具・家庭用品	10.62	10.81	10.96	12.13	12.44	12.30	11.58
保健	9.69	9.87	10.10	10.22	9.26	10.03	9.68
運輸	5.28	4.89	5.98	6.20	5.86	6.33	4.71
通信	7.07	7.11	7.06	7.00	8.86	8.84	8.52
娯楽・文化	14.21	14.86	14.33	13.79	8.54	8.78	8.03
教育	6.19	6.59	6.38	6.19	6.13	5.39	5.62
レストラン・ホテル	8.42	8.17	7.53	6.49	5.81	5.63	5.59
その他の財・サービス	10.20	9.74	9.96	10.01	8.91	9.92	9.66

出所：国家統計院 (INE)

貿易統計

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
輸出	額 (百万ドル)	672	641	618	659	627	605	750
	前年同月比 (%)	-4.0	-1.0	-2.5	0.0	12.6	16.6	24.6
	1月からの累計 (百万ドル)	5,086	5,701	6,286	6,952	627	1,210	1,917
	前年同期比 (%)	-12.6	-11.5	-10.5	-9.8	12.6	20.0	23.7
輸入	額 (百万ドル)	628	629	635	632	551	564	760
	前年同月比 (%)	-1.3	-10.1	-10.0	3.9	-3.9	12.5	34.6
	1月からの累計 (百万ドル)	4,915	5,540	6,174	6,805	551	1,114	1,873
	前年同期比 (%)	-7.5	-7.8	-6.3	-5.4	-3.9	3.7	14.2

出所：Uruguay XXI (ウルグアイのフリーゾーンを含まず。毎月の輸出額、輸出累計額は暫定値)

製造業指数(%)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	-6.24	-5.10	-5.64	-5.03	-0.28	-0.2	0.0
全体(石油精製除く)	-7.07	-5.78	-5.36	-4.77	-0.87		
食品・飲料	-6.46	-5.47	-5.27	-4.84	-2.64		
食品						-0.9	-1.0
飲料						-17.9	-12.1
繊維製品	-29.64	-28.06	-27.33	-26.41	-22.70	-17.9	2.1
衣服	-34.57	-28.44	-30.07	-28.52	83.52	-27.4	-22.1
皮等	-45.19	-42.61	-38.80	-36.68	18.64	6.1	13.1
木材及び関連品	-12.74	-8.98	-8.39	-7.33	6.09	-2.2	10.9
紙等	1.51	4.11	4.13	4.05	4.87	0.9	0.2
製本	-26.77	-25.06	-23.53	-22.23	-8.23	-16.0	-13.9
石油派製品等	-2.17	-1.73	-7.00	-6.32	2.15	-5.7	-5.7
化学品	0.17	0.31	0.24	0.92	-0.63		
化学品						14.5	14.3
医薬品						-4.7	-5.5
皮・プラスチック製品	-7.90	-5.60	-3.35	-4.06	10.54	28.1	27.4
金属鉱物	-4.29	-2.65	-2.55	-3.29	-10.53	-4.5	6.0
礎金属	-7.94	-7.13	-6.93	-1.51	-22.80	-11.9	-2.1
金属・機械・機器	2.07	0.74	1.83	1.86	5.52		
金属製品(機械を除く)						1.8	11.1
電子機器以外の機械	-0.36	2.80	0.29	1.08	28.53		
電子機器・機械	-18.48	-18.76	-17.52	-15.74	-14.00		
医療機器等	-33.62	-34.42	-33.44	-31.44	-34.78		
電子・情報・光学製品						-47.2	-30.8
電子機器						-2.9	12.1
機械・設備						1.9	36.2
自動車等	-43.80	-41.38	-38.93	-37.53	-34.61	-0.3	32.4
その他輸送機器	-0.29	-1.42	-4.93	-6.37	8.86		
家具等	-2.13	0.05	0.73	1.40	-6.18	-5.6	10.4
その他製造業						16.0	20.3
機械設備修理						-21.1	-22.0

出所：国家統計院(INE)

(2021年2月以降項目に変更があったため、2月分の数値については項目が異なっている。)

(了)